

事業名	農業近代化資金対策費	財務コード (事業)	049916
-----	------------	---------------	--------

細事業名	中山間地域活性化資金利子補給補助金
------	-------------------

担当部課室	農政部 部 農業技術課 課 農業教育・資金 担当 (内線)	5359
-------	-------------------------------	------

事業の概要

実施期間	始期 H3 年度 ~ 終期 年度															
実施主体	補助 (農協系統等民間融資機関)															
事業の目的	<table border="1"> <tr> <th>誰(何)を対象に</th> <th>その対象をどのような状態にして</th> <th>結果、何に結びつけるのか</th> </tr> <tr> <td>地勢等の地理的条件が悪く、農業の生産条件が不利な中山間地域において、加工流通施設、保健機能増進施設、生活環境施設を設置する者</td> <td>負担が軽減されている</td> <td>中山間地域の農林漁業の振興、地域の活性化</td> </tr> </table>	誰(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか	地勢等の地理的条件が悪く、農業の生産条件が不利な中山間地域において、加工流通施設、保健機能増進施設、生活環境施設を設置する者	負担が軽減されている	中山間地域の農林漁業の振興、地域の活性化									
誰(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか														
地勢等の地理的条件が悪く、農業の生産条件が不利な中山間地域において、加工流通施設、保健機能増進施設、生活環境施設を設置する者	負担が軽減されている	中山間地域の農林漁業の振興、地域の活性化														
事業の内容 主に 24年度	<p>事業目的 中山間地域の農林漁業の健全な発展を図るための資金について利子補給の措置を講じ、農林漁業の振興と地域の活性化に資する。</p> <p>事業内容 中山間地域の農産物加工流通施設、保健機能増進施設、生活環境施設の整備に必要な資金に対して利子補給を行う。 <中山間地域活性化資金> ・貸付対象者 農業者 ・融資枠 100,000千円 ・基準金利 1.60~2.45 (利子補給率 1.20~2.05) ・財 源 (財)農林水産長期金融協会:1/10、県:9/10 県:10/10 (H23年度以降)</p> <p>平成24年度の事業内容 平成12年度、13年度に食肉処理施設を整備した(株)山梨食肉流通センターに融資した山梨県信用農業協同組合連合会に対して利子補給を実施した。</p> <table border="1"> <tr> <th>(参考)</th> <th>(承認年度)</th> <th>(対象施設)</th> <th>(融資額)</th> <th>(融資先)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>平成12年度</td> <td>食肉加工処理施設</td> <td>270百万円</td> <td>(株)山梨食肉流通センター</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平成13年度</td> <td>食肉加工処理施設</td> <td>232百万円</td> <td>(株)山梨食肉流通センター</td> </tr> </table>	(参考)	(承認年度)	(対象施設)	(融資額)	(融資先)		平成12年度	食肉加工処理施設	270百万円	(株)山梨食肉流通センター		平成13年度	食肉加工処理施設	232百万円	(株)山梨食肉流通センター
(参考)	(承認年度)	(対象施設)	(融資額)	(融資先)												
	平成12年度	食肉加工処理施設	270百万円	(株)山梨食肉流通センター												
	平成13年度	食肉加工処理施設	232百万円	(株)山梨食肉流通センター												
根拠法令等	系統等民間資金を原資とする中山間地域活性化資金の円滑な融通のためのガイドライン、山梨県中山間地域活性化資金利子補給要綱															

事業の目標、実施状況等 (事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	23年度	24年度		25年度	26年度	事業目標の考え方	
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	利子補給金額	358千円	728千円	285千円	655千円	655千円	活動指標 目標設定の考え方 毎年度、1億円の貸付を目標とする。 データの出典等 実績報告書、予算書
	活動指標達成率 (実績値/目標値)		39.1 %				
成果指標	計画的に償還されている件数	2件	2件	2件	2件	2件	成果指標 目標設定の考え方 既貸付金が計画的に償還されていることを目標とする。 データの出典等 実績報告書、予算書
	成果指標達成率 (実績値/目標値)		100.0 %				
決算額、予算額 (千円)	358		285	655	533	成果指標によらない成果 貸し付けを行っている事業実施主体の負担は軽減されており、毎年度、純利益を計上し安定的な運営が行われている。	
うち一財額	322		257	634	519		
所要時間(直接分)	10 時間		10 時間	20 時間	20 時間		
所要時間(間接分)	0 時間		0 時間	0 時間	0 時間		
所要時間計	10 時間		10 時間	20 時間	20 時間		
人件費1人1単位:千円 (@2,050円×所要時間)	21		21	41	41		

これまでの事業の見直し・改善状況

なし

活動量と成果の判断 (平成24年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)

数値判定 H24年度 活動指標 達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること 利子補給金額は目標728千円に対し実績285千円、達成率39.1%となっているが、貸付に対する利子補給を 何時でも行えるように準備しておくのもであり、必要とする者に対して利子補給できており、予定どおりの活動量 があった。
d	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)

数値判定 H24年度 成果指標 達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記入すること 計画的に償還されている件数は目標2件に対し実績2件、達成率100.0%となっている。また、貸し付けを行っ ている事業実施主体の負担は軽減されており、毎年度、純利益を計上し安定的な運営が行われており、意図し た成果はほぼ上げている。
b	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

見直しの必要性 (平成26年度に向けた改善等の考え方)

一次評価 (担当部評価結果)		
見直しの必要性	説 明	以外の 判断項目
無		

・「以外の判断項目」の欄
必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) 官or民(f.民間等実施) 官の役割分担
(g.市町村等へ移管) 効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価 (担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説 明	以外の 判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

見直しの方向 (平成26年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
現行どおり	

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。